

市政に対する 一般質問

10名の議員が質問

2月定例会の一般質問は、2月25日及び26日の2日間にわたり行われました。

質問の要旨は次のとおりです。

※施政方針に対する質疑は平成22年2月定例会から市政に対する一般質問に統合され、今定例会に限り議員の質問時間を10分延長し、40分以内として質問が行われました。

沼倉 昭仁

「地域医療再生計画」と「特別繰り入れ」について

吉田 貞子

子どもを大切にされる施策を問う

佐久間 儀郎

学校支援ボランティアについて他

四 竈 英夫

本市農業の現状と今後の振興策について

水落 孝子

雇用の確保と地域経済活性化について他

菅野 恭子

子宮頸がん予防ワクチン接種への助成について他

山田 裕一

中学校教育の未来像について他

大町 栄信

工業団地造成と企業誘致について他

大野 栄光

高齢者及び重度心身障害者移動支援サービス事業の見直しについて他

沼倉 啓介

白石の都市構想について

「地域医療再生計画」と「特別繰り入れ」について

〔質問〕昨年10月、宮城県の「地域医療再生計画」が策定された。

この「計画」では「県南中核病院」が「基幹病院」に、「公立刈田総合病院」は「中核病院」のいわば「支援病院的な位置づけ」となっている。国の予算を受ける前提として、この「中核病院」との「セ

沼倉 昭仁

ンターとサテライトの序列化」を受け入れること、とされている。この重大な「方針転換」を、風間市長は、「特別繰り入れ」をお願いする白石市民に、なぜ「説明」しないのか。市長の所見を伺う。

〔答弁〕【市長】宮城県全体の「地域医療推進委員会」による再生計画においては、機能分化と連携強化による救急医療体制の構築となっております。

「地域医療再生計画」(県南版)において県南中核病院は三次救急、公立刈田総合病院においては二次救急と回復期リハビリテーション、透析センターの充実としてそれぞれが持つ役割を分化し、協力・補完する内容となっております。特別繰り入れについては、今年度の赤字を5億5千9百

記事の表記について
議会広報特別委員会では、障害者について、法律名、事業名などを除き、【障がい者】と表記しております。



公立刈田総合病院